



2012年上期 アジア最大客船 ボイジャー・オブ・ザ・シーズがアジアを母港に就航
VOYGER OF THE SEAS TO BE THE LARGEST SHIP TO HOME PORT IN ASIA

Singapore will kick-start the Asian season in Summer 2012



シンガポール 2011年6月8日－世界規模の客船会社ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは、およそ15万トンのボイジャー・オブ・ザ・シーズを2012年にアジアへ配船し、5月～6月にシンガポールを母港にした初航海を行うことを発表いたしました。

ロイヤル・プロムナードやアイススケートリンクなど革新的な施設を備えたボイジャー・オブ・ザ・シーズは、アジア発着のクルーズ客船の中で最も大きく、刺激的な客船になります。

アジアにおけるロイヤル・カリビアンの新試み

ボイジャー・オブ・ザ・シーズは15デッキ、乗客定員3,114人(2人1室利用の場合)、全長311m、幅48mで、客船クラスはボイジャークラス。これまでのアジアクルーズに類のない多彩なアクティビティーやエンターテイメントをご提供します。アジア客船の初施設としてアイススケートリンクで催される華麗なアイスショー、様々なショップやカフェが立ち並ぶ4デッキ吹き抜けのプロムナード、フルサイズのバスケットコートなどがあります。他にも、インラインスケートトラック、ウォーター・スライダー付のファミリープール「アドベンチャー・ビーチ」、ロッククライミング、ミニゴルフコースなど驚くべき施設を備えています。さらに本場ブロードウェイスタイルのミュージカルやショーをご覧いただける3階層のシアター、数々のテーマ・バーやラウンジ、2階層のナイトクラブ、最上階には拳式も可能なチャペルもございます。

船上アクティビティーだけでなく、お食事の選択肢も多岐に渡っております。お客様が優雅にお食事をお楽しみいただける3階建て1919席のダイニングルーム、イタリアンレストラン「ポルトフィーノ」、50年代スタイルのハンバーガーショップ「ジョニー・ロケッツ」など、お好みでお選びいただけます。客室も同様に、豪華なロイヤル・スイートから、ロイヤル・プロムナードを見渡すプロムナード客室まで、多数取り揃えております。

ボイジャー・オブ・ザ・シーズはシンガポールのマリーナサウス新国際クルーズターミナルに着岸します。5月にドバイからシンガポールへ到着し、6月まで東南アジアを巡るショートクルーズに就航、シンガポール内外からの数千人のお客様を見込んでいます。

その後、船は上海に北上し、7月から8月まで日本の福岡や神戸、韓国の釜山、済州島寄港を含んだ上海発着9泊クルーズに初就航いたします。そして10月に再びシンガポールへ戻ります。

「ボイジャー・オブ・ザ・シーズのシンガポールクルーズへの就航は、大きな可能性を秘めたアジアへのロイヤル・カリビアン・インターナショナルの新たな時代の幕開けとなるでしょう。」そう語るのはロイヤル・カリビアン社上級副社長、マイケル・ベイリー氏。「我々は、このように大型で、目を見張る特徴を備えた客船がアジアにくることで、新たな魅力や価値を提供できると信じています。さらに、アジアにクルーズブームを巻き起こすだけでなく、大型客船が寄港のためのインフラの整備に尽力できればと思います。」

以上